

大黒天物産(株) デオマート米子 西店



所在地：鳥取県米子市角盤町1-168
 フロア面積：約960㎡
 施主：大黒天物産(株)
 施工：アールスティ(株)
 完成：平成25年11月

S259

大黒天物産(株)が鳥取県米子市で展開している「デオマート米子西店」が省エネを図るため、照明のリニューアルを実施。一体形LEDベースライト薄形器具を採用し、省エネしながら明るく開放感豊かな光環境を創出しています。

西日本を中心に展開する大黒天物産(株)のディスカウントストア「デオマート米子西店」が照明リニューアル

「すべての人々に福を与える大黒天様のような企業になる」をコンセプトにして設立された大黒天物産(株)は、倉敷市に本社を置き、現在では関西エリアを中心に86店舗を展開するディスカウントストア(ラ・ムー、デオなど)を運営。「デオマート米子西店」は、地下1階から地上4階まであり、この内、今回改修されたのは地下1階フロア約960㎡の広さのスーパーマーケットです。売場中央には食品・飲料水・製菓売場を配置し、売場中央の左側に青果売場、右側には冷凍食品、それに回遊通路に沿って配されている壁面周囲には鮮魚、精肉、洋・和日配、惣菜、酒などで構成した売場となっています。

LEDベースライト薄形器具を採用し、省エネ・省CO₂を図りつつ、明るく、広がり感のある店舗照明を演出

既存ではFLR110W×2灯用器具がライン配置で使用されていましたが、省エネ・省CO₂を配慮して、消費電力を大幅に抑制できるLED照明に更新。既存と同等以上の明るさで均斉度も高めるため、既存とほぼ同寸法のHf86形蛍光灯器具相当の一体形LEDベースライト直付薄形タイプ(消費電力125W)を2.8m間隔でライン配置としています。これにより、直付なのに埋込みのように圧迫感なく開放感をもたらし、さらに天井面を照らす側面光が加わって空間全体に明るさ感と広がり感を与えており、平均照度は1,600~1,800ルクスが得られています。相関色温度は、既存では白色(4000K)だったのを更新では昼白色(5000K)にしたことにより、商品の色味が自然に見えるようになったのに加え、親しみ感を高めた活気のある雰囲気醸成しています。

消費電力およびCO₂排出量は、既存蛍光灯器具(225W/1台当たり)と比較してLED照明器具(125W/1台当たり)は約44%の削減を実現しています。



既存の蛍光灯器具を一体形LEDベースライト薄形タイプに更新し、空間全体に明るさ感と広がり感を創出



商品に影もなく見やすくするため商品棚とクロスに配置



レジ周りのLED照明



お酒売場周りのLED照明



冷凍食品売場周辺のLED照明



一体形LEDベースライト直付薄形タイプ

納入器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
店内	一体形LEDベースライト薄形タイプ	LEDT-99183N-LDJ	162	LED 消費電力:125W